

進路指導だより

進路決定までのスケジュール

先日、高等部2年生を対象に進路学習で「進路決定までのスケジュール（就労の場合）」についてお話をしました。

このような流れでより良い進路選択ができればと考えます。



高1・2…進路選択のための情報を集め、卒後の働き方や暮らしをイメージする

- 就業体験 … 働く体験をして、働くために必要なことを学ぶ。
- 事業所見学 … 実際に訪問して、仕事や職場の雰囲気等を知る。
- 進路学習 … 自分を知る（できること、苦手なことなど）、働くために必要なスキルやマナーについて学ぶ。

高3の9月まで…これまでの就業体験や進路学習から希望する進路先をしぼる

- 就業体験 … 第1希望の進路先で行い、採用可否の評価をもらう。
- 特別就業体験 … 進路希望がしぼれない場合は夏休みにも実習を行う
- 三者面談（進路面談） … 進路希望を固める。第1希望、第2希望。

高3の12月まで…採用試験に向けた学習 ※一般就労、A型のみ試験あります

- ※ 「高卒求人」の場合は、採用試験が10～11月にあります！
- 「履歴書」の書き方、面接の練習

高3の1～2月…「一般求人」への応募、採用試験

- ハローワークで求職登録 → 「紹介状」（応募書類に添付）※一般就労、A型
- 応募書類（「履歴書」「紹介状」など）の提出
- 採用試験、面接 → 合格すれば **進路決定！**

高3の3月

- 移行支援会議 … 進路先や相談機関の皆さんと卒業後について共通理解

進路のおはなし～進学② 大学や短大について

国内にはたくさんの様々な大学や短期大学（短大）がありますが、聴覚障害への支援や配慮、どのような情報保障があるかは、学校によってまちまちです。

もちろん大学や短大に進学するためには、入学試験に合格しなければなりません。入学選抜の方法は学校によりいろいろな種類がありますが、授業以外にも試験勉強にしっかり取り組むことは当然必要ですし、面接の練習や自分が入学したい動機、どんなことを学びたいのかなどを自分の中にしっかり持っておくことも大切です。



また、高校よりもさらに難しい勉強をするわけですから、高等部卒業までにしっかりした基礎学力や学習習慣を身につけておくことも大切です。

聴覚障害者のための大学と言えば、国立筑波技術大学があります。

○ 国立筑波技術大学（茨城県つくば市）

- ・ 聴覚や視覚に障害を持つ人を対象とした国内唯一の国立大学
- ・ 聴覚障害の学生は、産業技術学部の2つの学科で学ぶ。
産業情報学科（工学）、総合デザイン学科（デザイン学）。
- ・ 授業や学内施設での情報保障の充実

自宅からの通学を希望する（＝学生寮や一人暮らしを希望しない）場合は、県内や近県にもいくつかの大学や短大があります。

○ 国立佐賀大学（佐賀市）

○ 私立西九州大学（神崎市ほか）

○ 私立西九州短大（佐賀市）

○ 私立佐賀女子短大（佐賀市）

○ 私立九州龍谷短大（鳥栖市）

興味のある学校については、ホームページやパンフレットを見たり、オープンキャンパスに参加してみたりして、学ぶ内容や環境を確認し検討してみると良いでしょう。